

令和3年度 第3回 金沢医療センター治験審査委員会

【会議の記録の概要】

開催日時	2021年06月21日 16時30分～16時55分
開催場所	金沢医療センター 大会議室（大）
出席委員	阪上 学、萱原 正都、加賀谷 尚史、新田 永俊、池田 和夫、石塚 悌市、滑川 善秋、成瀬 美恵、秋山 哲平、中村 明子、吉野 ゆかり
欠席委員	
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>議題1. 日本新薬株式会社の依頼による慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者を対象としたNS-304（セレキシパグ）の第Ⅲ相試験（整理番号：16002） 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験薬概要書、治験実施計画書、同意説明文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認 ・阪上 学委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題2. （治験国内管理人）IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼によるA phase III randomised, double-blind trial to evaluate efficacy and safety of once daily empagliflozin 10 mg compared to placebo, in patients with chronic Heart Failure with preserved Ejection Fraction (HFpEF) 駆出率が保持された慢性心不全（HFpEF）患者を対象としてエンパグリフロジン10 mg 1日1回投与の有効性及び安全性をプラセボと比較して評価する第Ⅲ相、無作為化、二重盲検試験（整理番号：17006） 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認 ・阪上 学委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題3. 大塚製薬株式会社の依頼によるアルツハイマー型認知症に伴うアジテーションに対するプレクスピブラゾール（OPC-34712）の有効性、安全性を検討する、多施設共同、プラセボ対照、無作為化、二重盲検、並行群間比較試験（整理番号：18004） 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 被験者募集Web資料の追加に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題4. 小野薬品工業株式会社の依頼によるONO-4538第Ⅲ相試験 非扁平上皮非小細胞肺癌に対する多施設共同二重盲検無作為化試験（整理番号：18005） 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験実施計画書、同意説明文書、被験者への支払いに関する資料の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p>

	<p>議題5. 大塚製薬株式会社の依頼によるアルツハイマー型認知症に伴うアジテーションに対するプレクスピプラゾール（OPC-34712）継続投与時の安全性を検討する多施設共同、非対照、非盲検試験（整理番号：19003） 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>議題6. ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動期の潰瘍性大腸炎患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第2b/3相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較、多施設共同試験（整理番号：19007） 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 治験責任医師向け指導ガイドの追加、治験実施計画書別冊の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認 ・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題7. ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動期のクローン病患者を対象とするグセルクマブの有効性及び安全性評価を目的とした第II/III相、ランダム化、二重盲検、プラセボ及び実薬対照、並行群間比較、多施設共同試験（整理番号：19008） 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認 ・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題8. 小野薬品工業株式会社の依頼によるFOY-305 第Ⅲ相試験 SARS-CoV-2による感染症（COVID-19）に対するプラセボを対照とした多施設共同二重盲検無作為化並行群間比較試験（整理番号：20011） 安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認 ・加賀谷 尚史委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題9. ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるRS ウイルス（Respiratory Syncytial ウイルス：RSV）による急性呼吸器感染症で入院した乳幼児（28 日齢以上5 歳以下）並びに新生児（28 日齢未満）を対象にrilematovir の有効性及び安全性を評価する第3 相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照試験（整理番号：20013） 治験実施計画書の変更、Thank youカードの追加に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果：承認</p> <p>【報告事項】 報告1. 令和3年 5月末時点の金沢医療センターにおける治験実施状況について 報告2. 令和3年度 第2回 金沢医療センター 治験審査委員会 会議記録概要（令和3年度5月IRB）について</p>
特記事項	